

1 主な報告等

(1) 沖縄県警察学校入校式の挙行について

委員から、警察学校の入校式は警察職員としての職責を自覚する良い機会である。この先の長い警察人生の中で、学校での半年、10か月は重要な時期になると思うので、訓練に力を注ぐのと併せて同期の絆を深める取組などを行っていただきたい旨の発言がありました。

(2) 令和4年中における県内の刑法犯認知件数(確定値)の概況について

委員から、新型コロナにより人々の生活様式が変化している中で、以前のように街頭で犯罪の未然防止を呼びかけることは難しくなっていると思う。犯罪防止を訴える効果的な活動について検討してもらいたい旨の発言がありました。

(3) 令和4年中における地域警察活動実績優秀者の表彰について

委員から、身近な存在である交番の警察官が表彰されたことは、地域住民の安心感にも繋がる。表彰について公民館の広報紙などで取り上げてもらうことも検討してもらいたい旨の発言がありました。

(4) GoToトラベル事業給付金不正受給詐欺事件被疑者の検挙について

委員から、世の中が新型コロナで混乱した状況において発生した事件であり、今後も不正を見逃すことなく、しっかりと捜査していただきたい旨の発言がありました。

(5) 交通特別研修員(第5期)の指定について

委員から、エキスパートの育成として有意義な施策なので、今後とも継続してもらいたい。制度が始まって5年という節目なので、制度をさらに充実させるためにも、研修終了後に総括し、検討してもらいたい旨の発言がありました。

(6) 要人警護の実施結果について

委員から、大過なく無事終了したことを評価する。今後とも要人の安全のため万全を尽くしていただきたい旨の発言がありました。

(7) 暴行事件被疑者の検挙について

委員から、警察官にあっては、警備業務に従事する際は、いかなる場面でも公正、中立な態度で冷静に対応してもらいたい旨の発言がありました。

(8) その他

警察本部から、人事異動があり各所属とも体制に変化はあったが、治安維持に間隙を生じさせることなく、各部門で連携し事案にしっかりと対応してまいりたい。また、サイバーやDXが進んでいく中で変化する治安情勢に対しては、警察としてどう対応すべきかに

ついて新設した総括参事官を中心に検討してまいりたい旨の発言がありました。

2 主な決裁等

(1) 警務部

- ・ 訟務関係報告
- ・ 公安委員会あて苦情の受理について
- ・ 九州管区内公安委員会連絡会議における協議テーマ等の選定について

(2) 地域部

- ・ 水上安全条例違反に伴う行政処分について

(3) 交通部

- ・ 自動車運転免許の行政処分について
- ・ 自動車教習所の管理者の変更について(3件)

(4) 警備部

- ・ 警備情勢について
- ・ 警察職員の援助要求について